

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日昼礼に、職員全員で理念の唱和を行い、共通の認識を持ち、実践に繋がるように努めています。	グループホームの理念を職員と検討し、玄関・事務室へ掲示し、毎日の昼礼の際に理念を復唱しています。また、理念を実践できるようにホームの年間目標や個人目標も設定し、振り返りも行っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染防止対応のため、ドライブ・散歩・受診以外の外出は控え、例年予定されていた、保育園や演芸サークルなどの訪問受け入れを中止しています。少しでも地域の方とのつながりが持てるように、地域の折り紙サークル・写真愛好家から作品をお借りし、作品の展示を通じて交流を図る工夫をしています。地域の回覧板を活用し、施設の取り組みを知っていただく機会として年3回発行されている広報誌を地域に回覧していただいています。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、例年ではご利用者と一緒に地域の清掃活動を行ったり、地域の保育園児に来て頂くなどの交流が行われています。また、グループホームだよりを地域の回覧板で見頂く等の取組を行い、地域とのふれあいが心がけられています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設での取り組みを知っていただく機会としていた、市の文化祭も新型コロナウイルス感染症の影響で作品作成などうまくできず、今回は参加できませんでした。地域とのかかわりを持つ機会が少なく活かすことが出来ない状況でした。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染防止対応のため、書面開催にて隔月6回行いました。運営の取り組みについて、利用者の行事や日々の写真を資料に添え、運営状況・現状報告を行ない、委員の方に照会書にて評価・意見等いただきました。いただいた意見を踏まえ、サービスの向上に努めています。その内容については施設内で閲覧いただけるようにしています。	今年度は新型コロナウイルスの影響で書面送付での開催ですが、運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、知見者・民生委員・区長・包括支援センター職員・市の担当者・ご家族等へ事業所の状況報告を行い、書面で頂いた意見はしっかり受け止めて向上するように努力しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	新型コロナウイルス感染防止対応のため書面での運営推進会議となりました。照会書にて意見・要望をいただき、市職員や地域包括センターの職員と情報交換に努めています。	市の担当者、地域包括支援センター職員には運営推進会議にてアドバイスを頂いているほか、不明な点について連絡を取り連携が図られています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修年2回及び3か月に1回委員会を開催し、職員全体に意識付けを行ない、言葉やケアで精神的な自由を妨げないように取り組んでいます。玄関等施錠をせず、事務職員等の協力を得ながら見守る体制を整え、身体拘束は行なっていません。	身体拘束に関する法人内研修や委員会活動にて身体拘束に関する指針を確認するなど職員の理解を深め、玄関の施錠も出来るだけしないなど身体拘束をしないケアを徹底しています。	
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	内部研修年2回開催し、職員全体に意識付けを行なっています。また、虐待の芽チェックリストを実施し、集計結果を職員に周知することで注意を促し、虐待防止に努めています。	虐待防止に関する法人内研修や委員会活動にて理解を深めているほか、チェックリストを使用して自己評価をするなど、虐待の防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修等に参加し、制度への理解に努め、必要性のある利用者への支援ができるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約の際は、書面を確認いただきながら、わかりやすい説明を心掛け、説明後不明な点については、随時説明をすることで理解・納得いただいています。介護報酬改定等の際には、説明文を送付し、問い合わせには、随時説明をすることで理解・納得していただいています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に意見箱を設置しています。サービスと職員の接遇について、利用者・家族へアンケートを実施し、いただいた意見・要望は職員会議等で検討し運営に活かしています。 日々の会話やサービス担当者会議・受診等家族と連絡を取る際などかかわりの中で伺い、いただいた意見・要望は、職員で共有し検討・改善に努めています。	ご家族には面会時やサービス担当者会議の際に要望を確認しています。ご家族には運営推進会議でもご意見を確認しているほか、サービス・接遇に関するアンケートを実施したり、日頃のお話のなかで意見を確認し、業務に反映できるように努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設内に意見箱を設置しています。毎月定例会議や日々のカンファレンスにて、業務改善や月の行事計画等、提案・意見を出し合い検討を行ない運営に活かしています。	毎日のカンファレンスや職員会議などで職員の意見を聞く機会を設けて、職員から提案があれば職員同士で検討が行われ、運営に活かされています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員意向調査や人事考課制度を導入し、職員面談・評価を行っています。定期的に事業所内会議と併設事業所間会議にて、意見・要望の把握や検討等を行なっています。また、毎月職場内巡視チェックリストを行ない、職場内の環境整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員意向調査や人事考課制度を導入し、職員面談を行ない、職員一人ひとりのケアの実際と力量の把握に努めています。法人内外の研修を受ける機会を設け、職員個々のスキルアップ・人材育成にも努めています。新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン研修の受講を活用しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新型コロナウイルス感染防止のため、交流が出来ない状況でした。運営推進会議での情報交換や、他事業所の方と意見交換・交流、ネットワーク作りに努めて行きたいと思いをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居検討の際、担当介護支援専門員等から情報収集を行ない、事前訪問時に本人の不安や困り事・思いや家族に対しての思いを傾聴し、要望等を伺いながら安心して任せられる関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族面談時や事前訪問時に、本人の状況を伺いながら、家族の思いや本人に対しての思いを傾聴し安心して任せられる、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当介護支援専門員等と連携を図り、現状把握を行なうと共に、何を必要としているのか相談・検討を行ない対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者一人ひとりの能力に応じ、生活の中で出来ることを分担し、協力しながら互いを尊重しあう関係性の構築に努めています。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族来苑時やサービス担当者会議等の連絡の際に、日々の様子を伝えています。状態変化が見られた際には、ご家族に連絡し、家族と情報を共有することで共に支えて行ける関係作りに努めています。	サービス担当者会議や面会の際に日頃の様子を説明し、受診や外出についてもご家族に協力してもらっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルス感染対応のため面会制限をしており受診以外は会えない状況でした。オンライン面会・窓越し面会を取り入れ、可能な限り関係が途切れないように努めています。 会いたい人がいる際には、家族の協力を得ながら、可能な限り知人との面会または連絡ができるように支援しています。 併設事業所間で、知人や同郷者との面会を希望された際には、感染症対策も考慮しながら、面会の機会を設けています。	ご利用者の馴染みの関係の把握に努め、ご家族にも協力して頂き、自宅への外出支援、行きつけの美容室の利用や、コロナ渦でのオンライン面会や窓越し面会も行なっています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	コミュニケーションが円滑に行なえるよう、フロア内の席の配置等、利用者同士の関係性に配慮しながら支援しています。また、職員が間に入り、利用者間の交流に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談や支援ができるように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関りの中で、個人の思いや希望を伺い、応えられるように努めています。 入居時、終末期の医療について意向を书面でいただいています。本人と家族で話し合う機会の提供にも努めています。困難な場合には、意向を踏まえ再度家族・職員間で、本人ならどうされていたか検討するように努めています。	日常のやりとりのなかでご利用者の意向の把握に努めているほか、ケアプランの見直しをする前に面会時や電話にてご家族の意向も確認しています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前後に、介護支援専門員等から情報提供や本人・家族に生活歴を記入いただき、本人像の把握に努め、生活の中に生かせるように取り組んでいます。	入居時にご本人やご家族、以前のケアマネージャーからの聞き取りにてこれまでの生活歴や生活習慣の把握が行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常的な気づき・現状を記録すると共に、カンファレンス等で職員同士情報を共有し、生活に反映できるように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族の意向を伺い作成しています。本人のできることを職員間で話し合い、介護計画に反映させています。毎月評価担当を輪番制で行ない、個々の支援内容の把握に努めています。その都度現状に即した計画作成を行なっています。	毎月ケアプランを評価し、計画作成担当者もモニタリングを行い、その上で計画作成担当者がケアプランを見直しています。ケアプラン作成時にはサービス担当者会議を行い、ご家族との検討の機会も設けています。	サービス担当者会議録で次の開催時期が記載されていなかったり、モニタリングシートの評価期間に誤りがありましたので、今後ミスの無いように改善されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日ケース記録に個々の生活状況を記録し、カンファレンスや連絡ノートを活用し情報を共有に努めています。個別の課題については検討行ない、継続して観察が必要な事項はPDCAサイクルを実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりの日々の状況を把握し、その時々状況に応じた柔軟なサービス提供に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルス感染防止のため、例年予定されていた保育園や演芸サークルの訪問交流ができない状況でした。そのため、地域のサークルに協力をいただき作品をお借りする取り組みを行ない、廊下に展示し作品を通じて交流を図る工夫をしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を継続し、定期受診・緊急受診において、日頃の様子を家族へ説明し、主治医へは書面や電話等にて伝え、安定した健康状態を保てるように支援しています。	かかりつけ医はご本人の希望するかかりつけ医となっており、受診時は原則ご家族が付き添い医師との状況の確認が行われているほか、ご利用者の情報をまとめ医師に渡すなどの情報提供も行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日状態変化や気づきを報告・相談しアドバイスを受けています。状態変化時は24時間相談できる体制を整え支援に努めています。利用者に訪問看護が入った際には、連絡を取り合い適切な看護が受けられるように支援に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が決まった際には、病棟看護師へ情報提供を行ない、安心して治療を受けることができるように支援しています。退院時には事前に病院へ訪問し、入院時の状態や病状等の情報提供をいただき、連携を図れる関係づくりに努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に書面で説明すると共に、本人・家族の考えを伺っています。かかりつけ医と連携し、本人・家族の意向に沿った支援ができるように努めています。また、入居時に終末期の医療について意向を書面でいただいています。状態変化時に、今後必要と考えられる支援、事業所でできることを説明し、話し合うように取り組んでいます。	ホームでも実際に看取りを行っており、契約段階で事業所の「重度化した場合における対応及び看取りに関する指針」をもとに管理者はホームの方針を伝えているほか、ご利用者の状態に合わせてご家族と話し合いの場を設けています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人で年2回心肺蘇生・AEDの研修を実施。応急手当や初期対応が出来るよう実技訓練を中心に行なっています。	心肺蘇生・AEDの研修を法人内で定期的実施し、職員が急変時に適切な初期対応ができるようにしています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時対策として、日中・夜間を想定しての避難訓練を実施しています。また、地域と災害時における防災協定を締結しています。	日中・夜間の火災や水害を想定した避難訓練を併設事業所と合同で行っており、非常用の食品や水も確保し、災害時に適切な対応がとれるようにしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人研修に、接遇研修が組み込まれており、接遇マニュアル・法人職員倫理綱領・職員行動指針等全職員に配布し職員の意識の向上に努めています。 定期的に接遇評価を行なっています。	接遇については法人にて研修会を行い、徹底しています。また、事業所広報やブログに掲載する写真の掲示についても契約時に確認をとっています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人ひとりに話を伺う機会を設け、意思表示や希望等を表しやすいように、自己決定ができるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人に伺いながら、天気の良い日には、畑や散歩などにお誘いし、希望される方に付き添い支援をしています。家事・軽作業・レクリエーション等も本人に伺いながら、本人のペースで参加していただいています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	地域の理容福祉会から月2回来ていただき、希望される髪型にしてもらっています。毛染めを希望される方へは、地域の美容室から訪問していただく支援も行なっています。 新型コロナ感染防止のため、衣替えは利用者と職員で行っています。傷んでいるもの・不足しているものは、ご家族に連絡を取りおしゃれを楽しむことができるように支援をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常的に調理や配膳等の準備・後片付け等を利用者ができる範囲で職員と一緒にこなっています。献立についても、利用者の希望を取り入れ、旬のものや畑で収穫した野菜を調理し、喜んでいただいています。嫌いな食べ物は、代替を提供しています。	調理の準備や後片付けはご利用者と共に行ったり、意向調査を行いご利用者の好みを取り入れた献立作りを行い、食事が楽しみなものになるように心がけています。また、畑での野菜の収穫やパンバイキングや出前のお寿司を提供する機会も設け、ご利用者に食事を楽しんでもらっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立やレシピ本などを参考に、グループホームの職員でも調理できる品にアレンジし、栄養バランスも考え献立を作成しています。食事量・水分量は個々に記録をとり、低栄養や脱水を起こさないように支援しています。熱中症予防のため、入居者が水分補給として取りやすいゼリーを提供するなど工夫をしています。BMI値で栄養状態の把握に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行ない、仕上げ磨きなど個々に必要な支援を行っています。個々に合った歯ブラシや舌ブラシなどの道具の準備・管理を行ない、入れ歯の方は、1日1回薬剤洗浄を行なっています。歯科治療が必要な方には、本人・家族に確認しながらかかりつけ医や訪問歯科につなげる支援をしています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせ、本人の羞恥心に配慮した声掛け・確認や排泄介助の支援をしています。また、トイレの場所をわかりやすく表示することで、トイレでの排泄が継続できるように支援しています。	各ユニットに3カ所の車いす対応のトイレを設置し、ご利用し易い環境を整えています。また、ご利用者全員の排便チェックも行い下剤の調整をするなど、パターンを把握し個々のご利用者に応じた対応をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防として、乳酸飲料・ヨーグルト・バナナ等を取り入れ、水分補給も進めています。また、朝体操や散歩などで、適度な運動を行なうように取り組んでいます。排便の有無を確認し、排泄チェック表を付け、必要時下剤などを使用し排便コントロールを行なっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の希望に添えるよう、ゆっくりと入浴していただけるように配慮をしています。本人の体調や希望によって、柔軟に変更できるよう支援をしています。	事業所には一般浴とリフト浴が設置されており、状態に合わせた利用が可能になっています。入浴を嫌がる方へも職員間で声を掛けるタイミングを工夫したり、ご利用者の希望に添って、入浴して頂けるよう対応しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	全室個室のため、他者からの影響を受けることは少ないです。安眠できる環境を整え、利用者それぞれの生活習慣や体調の配慮し、休息いただけるように支援しています。フロアにソファを置き、くつろげる環境を整えています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬説明書を個人ファイルで管理し、いつでも確認が取れるようにしています。薬の変更時には、副作用を確認し状態観察を行ない、職員と情報を共有しています。副作用など状態変化時にはかかりつけ医や調剤薬局に問い合わせを行なう等の対応をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新型コロナウイルス感染防止のため、余暇活動や調理の手伝いが思うように出来ない状況でした。感染対策の中で、出来る限り一人ひとりの能力に応じて、できることを役割として、張り合いを持って、取り組んでいただけるように支援しています。また、今までやっていた茶道や編み物・畑など趣味が継続できるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染防止のため、外出・外泊の自粛・面会制限を行ない、外出ができていません。例年であれば、外出ツアーや地域のイベント・行事に出掛けていましたが、ドライブや施設内外の散歩程度の支援しか出来ませんでした。	お花見などの季節に応じた外出のほか、今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、例年では近くのスーパーへの買い物などの日常的な外出や、ご家族にも協力して頂きイベントに出かける等の外出も行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	新型コロナウイルス感染防止のため、施設内の移動販売・外出しての買物は自粛しており、使える支援が出来ませんでした。極少数ですがお金を所持されている方がいられます。施設内にある自動販売機で飲み物を購入される方の支援を行っています。お金の出し入れは、伝票を記載し管理しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話をお持ちの方が増えています。故障など不具合時ご家族へ連絡するなど援助を行っています。要望があれば、居室に電話を引くことができます。公衆電話を使用する際には、小銭の準備や電話をかける支援をしています。 家族や知人へ手紙や年賀状を送りたい方には、必要品の準備などの支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者と一緒に季節ごとの飾りを作成し、飾り付けを行なっています。また居室の窓からは、グループホームの畑や草花が見られ四季の彩りを感じていただけるように取り組んでいます。	窓からは畑や草花が見られ、お花を飾ったり、季節に合わせた作品を飾ったりと四季を感じることができます。また、リビングは広々としており開放感があり、ソファも置かれておりくつろげる雰囲気となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、ソファとテーブルを配置し利用者がくつろぎやすい空間づくりに配慮しています。 4人掛けのテーブルもあり、各々が好きな所で過ごしていただいています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具の配置は、ご家族と相談しながら、本人の居心地のよい環境づくりをしています。また、自宅でも大切にしていたものや、慣れ親しんだ物をベッド脇に置いたり掲示してもらっています。	居室には時計やラジオなど、使い慣れた物を自宅から持ち込んでもらっています。また、ホームでの写真やご家族の写真、カレンダーを飾るなどして、その人らしい部屋作りの工夫をしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋の場所がわからなくなってきた方には、居室前に表札代わりに文字を大きくして掲示する。トイレには、漢字やカタカナ表記で文字を大きくしたりイラストを利用し視覚でわかりやすいように掲示するなど工夫しています。		

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない